

# 【弔 辞】

---

## 弔辞をたのまれたら

弔辞の内容は、故人の生前の人柄や業績をたたえて追慕と感謝の気持ちを伝え、冥福を祈るとともに遺族への慰めと励ましの言葉をかけるというのが一般的です。

1. 故人の訃報に接して驚いた事
2. 故人と自分との関係や思い出、追慕の気持ち
3. 故人の経歴や功績、人柄をたたえ感謝を表す
4. 遺族へのお悔やみと励ましの言葉
5. 故人へのお別れの言葉—といった流れになります。

あまり力まず、故人の人柄をほうふつとさせるような思い出やエピソードを中心にまとめた方がいいでしょう。決り文句もあまり使いたくないものです。死亡原因についてはあまり詳しく言及しないのが礼儀です。

忌み言葉には特に注意を払います。「かさねがさね」「くれぐれも」などの重ね言葉や「再三」「幾重にも」など、不幸が度重なる事を連想する言葉は避けます。宗教による用語の違いにも気をつけます。

---

## 弔辞を読むとき

司会者に指名されたら静かに祭壇に進み、遺族に一礼した後、遺影に一例してから包み紙から弔辞を出します。読む時は故人に語りかけるような調子で読んでいきます。「謹んで〇〇さんに申し上げます」といった呼びかけの言葉で始まるケースが多いようです。

弔辞を読み終わったら巻紙を巻き直して包み紙に納め、上書きの文字を遺影に向けて祭壇に置き、遺影と遺族席にそれぞれ一例して自席に戻ります

---

## 弔辞の内容やポイント

---

### 【弔辞の書式について】

弔辞は「白い巻紙」に薄墨を使って楷書で書きます。  
書き終えた弔辞は「奉書紙」に包み上書きは「弔辞」とします。

---

### 【弔辞の内容】

弔辞は文字数にしてほしい 1000 文字程度、時間にして 3~5 分程度にすると良いでしょう。内容には次の事柄を織り込みます。

1. 故人へのお別れの言葉
  2. 故人の会社や社会での業績
  3. 故人の生前の印象深い思い出
  4. 残された者の責任と決意
- 

### 【弔辞の慣用語句】

1. 謹んで〇〇〇〇社長のご逝去を悼み、ご霊前に告別の辞を捧げます。
  2. 本日ここに故〇〇〇〇さんの葬儀に臨み、謹んでそのご霊前に追悼の辞を捧げます。
  3. 〇〇〇〇を代表いたしまして、お別れの言葉を述べさせていただきます。
  4. 今や君を幽明境を異にし、
  5. 〇〇〇〇君を失ったことは、誠に惜しみても余りあり、痛恨の極みであります。
  6. ご家族の心中に思いをいたすとき、察するに余りあるものがございます。
  7. 誰からも慕われるご円満なお人柄と広い知識をもって職責をまっとうされました。
  8. 人情に厚く、人に接するや誠心誠意、公平無私でありました。
  9. あなたのご意志を体し、社業の発展にいつそうの努力を尽くすことを社員一同堅くお誓いいたします。
  10. 願わくば、末永く私共の行く手をお守りください。
  11. ありし日の〇〇〇〇社長を偲び、一言述べて弔辞といたします。
- 

### 【弔辞のマナー】

弔辞を頼まれたら断らないで引き受けるのが礼儀です。弔辞は喪家に保存されますので、丁寧に書くべきですが、文章は真心が伝わるように自分の言葉で書くのが良いでしょう。

---

### 【弔辞のポイント】

1. 亡くなったことへの悲しみを述べます。
  2. 故人人柄を、あまり大袈裟にならない程度に讃えます。
  3. 遺族を励まし、自分にできることがあれば力になりたいと誓います。
  4. 故人の冥福を祈り結びとします。

## 弔辞の例文

---

### 【例文 ①】

---

〇〇株式会社代表取締役、故〇〇〇〇殿の御葬儀が執り行われるにあたり、御霊前にお別れの言葉を申し上げます。

貴殿は昭和〇〇年に〇〇会社に入社され、営業部長、常務取締役を経て昭和〇〇年には代表取締役社長に就任されたのでありますが、この間〇〇年にわたり終始一貫社業の発展に尽瘁せられ、幾多の難局を克く打開して〇〇会社今日の隆運に大きく寄与せられました。

顧みますと第二次世界対戦の混乱から現在まで我が国は幾多の困難な中を立ち止まってまいりましたが、こうした中で貴殿は温厚堅実な人柄と優れた創造性により、業界の指導者として卓越した手腕を発揮され、殊に黎明期の日本の〇〇界に貢献された業績の偉大なことは、今更私の贅言を要しないところであります。

最近の我が国経済は内外ともに幾多の問題をかかえており、〇〇界の果たすべき役割もますます大きなものとなっております。このような時にあたり、貴殿のような立派な指導者を失ったことは、ひとり御社のみならず、業界並びに広く社会経済界にとっても誠に大きな損失であると言わざるを得ません。

しかしながら、御社は貴殿の育てられた幾多の人材を擁しており、貴殿の築かれた礎のうえに今後ますます発展を続けられるであろうことを確信いたしております。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇業協同組合理事 〇〇〇〇

---

### 【例文 ②】

---

本日ここに〇〇会社〇〇社長の社葬にあたりまして、社員を代表し追悼の言葉をささげます。

ご就任以来、経営危機に瀕していた当社の業績をわずかな間に回復された経営手腕は、今もなお語り継がれ、受け継がれております。

社長はつねに新しい商品開発のために身を呈して働き、世界中を駆け回って今日の当社の基盤をつくられました。今、ここに帰らぬ人となりました社長の御霊前に、社員一同、ご意志を受継ぎ、社業の発展に邁進する事をお誓い申し上げます。

---

## 弔辞の構成別文例 10

---

### はじめの言葉 10 例

---

- 秋深く落葉しきりの季節、惜しくも長逝された故〇〇翁社葬の儀にあたり、業界を代表してお別れの言葉を申し上げたいと存じます
- 〇〇君、いま君の霊前に無限の悲しみをこめ、〇〇課同輩一同、謹んで哀悼の意を表します
- 本日ここに〇〇先生のご霊前にお別れのご挨拶を申し上げなければなりません。人生のはかなさを感じるにあまりある悲しみでございます
- わが莫逆の友〇〇君の死を悼む。君は余りにも泉途に赴くを急いだ。後進に道を譲ったとはいえ、君の影響は今も大なるものがあり、君を頼りにしている人々は数多い
- 〇〇先生、突然の先生の訃報に我々一同は、本当に驚き深い悲しみでいっぱいです
- あなたが亡くなったという、思いもよらぬ悲しい知らせを受けた瞬間、私は暗闇につき落とされたような絶望感に襲われ、言葉もなく立ちすくんでいました
- 君とはついこの間楽しく語り合ったばかりなのに、今君は遺影となって僕の目の前にいます
- ご家族の手厚い看護や治療の甲斐もなく逝去なされた〇〇さん
- 〇〇さん、今日は悲しいお別れにまいりました
- 〇〇さんと呼びかけても、あなたはもう何も答えてくれないのですね

### 人柄をあらわす言葉 10 例

---

- 〇〇氏は、天性の才能、剛気不屈の精神、それに人間味豊かな性格をもって〇〇株式会社を今日まで育てあげられました
- その真摯なお人柄と、開拓者精神にあふれた積極性は、常に後に続くわれわれの指針でありました。今に思えばどれだけ多くのものを譲り受けたか計り知れません
- 人情味厚く、誰に対しても誠心誠意、公平無私でありました〇〇社長。誰もがその風格を親み、その徳を慕っておりました
- 御令室様、あなたは常に満面に笑みをたたえられ、訪れる者を柔和なまなざしで迎えて下さいました。それは清楚な野の花のようでした。しかし今やそれも空しくなってしまうわたのです

- 君の悠揚とした風格は、人を惹きつけるものがありました。円転滑脱趣味も豊かで、いつも多くの友人に囲まれていました
- ○○組合長は、ご家庭でそうであったように、わが○○組合でも、よき親父であり、頼りになる兄貴であられました
- 真実一路の信念に燃える情熱が、どれだけ私どもを力づけたことか、またその飾らないお人柄その優しさにはお礼の言葉もございません
- 私たちのだれもが○○さんの人間味あるひととなりに接し、親しみとともに深い尊敬の念を抱かずにはいられませんでした
- 実にスポーツマンらしい爽やかな人柄で、誰からも好かれ、家庭を愛し、仕事を愛し、同僚を愛してきた君
- 先生は学問の師、人生の師であると同時に、厳しさと優しさを持った父親のような方でした

## 功績をあらわす言葉 10 例

---

- あなたの残された輝かしい業績の数々は、とこしえに業界の指針として我々の中に残ることでしょう
- ○○社長のこの業界に於ける半世紀の足跡は、そのまま○○株式会社の発展の歴史を物語っているということが出来るのであります
- 君の独創力は比べるものがなく、○○を発明し、わが社の発展に大きく貢献した功績は衆知の処であります
- 寝食を忘れてのご努力は、ここに申し上げるまでもなく、ご功績は永久に消えることはありません
- ○○さん、あなたが地域社会の発展に尽くされた功績は非常に大きいと存じています
- その数多い功績の中でも、○○○○は、わが市民が永久に忘れることの出来ない偉業と誰もが信ずる次第であります
- 優れた先見の明とその努力とで、またたく間に中心的人物として、内外からも多大の期待をかけられていました
- 私たちは今、偉大なまとめ役を失って途方に暮れています
- ○○さんがその生涯をかけ心血を注いで育てこられたこの会も、やっと軌道に乗り出し、これからという時でした
- 今日のわが社の素晴らしい業績も、貴方の手腕に負うところ大であります

## エピソード 10 例

---

- 公私に亘る交友の思い出
- 故人がやり残した仕事のこと
- 学生時代の故人の思い出
- 二人の出会いのキッカケ
- 故人が特技にしていたこと
- 大英断をもつてのぞんだ事件
- 生前、故人と約束したこと
- 故人に賜った数々の教えについて
- 死去の知らせを聞いたときの思い
- 故人のニックネームの由来

## 誓いの言葉 10 例

---

- 先生の遺業を継ぐべく更に一層の努力をする覚悟でございます
- 先生のみ教えは、尊い教訓として、私どもの胸裡に深く刻まれていくことをお誓いいたします
- あなたが誰よりも情熱を傾け、その一生を捧げられた〇〇市政を更に発展させることを心から誓うものであります
- 今後は〇〇氏がお与え下さったご恩恵とご指導を守り、発展せしめご厚恩にお報いしたいと思えます
- 終生あなたが掲げられた信念と指針を必ずや受け継ぎ、更なる発展へ邁進する覚悟でございます
- あなたの人徳や数々のご功績は〇〇委員の模範として永久に生き、またそお使命遂行に 当たって示された崇高な精神は、必ずや社会建設のために活躍される同友後輩の方々にとって、大きな指標となることと信じます
- 残された私どもがそれぞれ精一杯生き抜くことが、〇〇氏のご遺志を継ぐことになると思えます
- あなたが一途に生きてこられた豊かな人生を私たちは決して忘れないでしょう
- 我々は〇〇翁の真摯な生き方を人生の手本に、社会人として恥ずかしくないように歩いていきます
- 真剣に生きようとした君の姿は、私たちの心の中にいつまでも生き続けるでしょう

## 励ましと慰めの言葉 10 例

---

- 突然のことであり、ご遺族の方々の悲しみは、いかばかりかとお察し申しあげ、心より哀惜の意を表するものであります
- 御遺族、御親族の方々の胸中は、まさに悲嘆と断腸の極みかと存じます。それを思い、不肖わたくしも胸を引き裂かれるばかりです
- ご遺族の方々のお嘆きはさぞやとお慰めの言葉もありませんが、特にご高齢のご母堂様のご胸中はいかばかりかと察するだに痛恨の極みであります
- ご遺族の方々の悲嘆はまさに断腸の思いさながらでございましょう。ここに深く哀悼の意を表するものであります。このうえはなにとぞ力強くお過ごしなられるよう祈念いたす次第です
- 長い年月、喜び悲しみを共にしていらしゃいました母子であっても、いずれはこうした別れの日を迎えねばならぬとは、現世の定めながら、〇〇様のご悲嘆はどのようなものであろうかと、今はお慰めの言葉もありません
- 〇〇君、私どもは今後、君の御遺族の将来を配慮し、出来るかぎり支えとなってまいりたいと存じます。どうぞ君は安心していてください
- 〇〇さん、あなたの血をひくお子様です。きっと立派に成人されると信じております。そしていつの日にか彼の父親がどんなに立派な人であったかを我々の口から話して聞かせたい
- この後もあなたの御人徳は永く記憶され、御遺族の皆様がこの悲しみを乗り越えて強く生きて行かれる心のより所となることでしょう
- どうか安心して冥せられ、御遺族と私ども〇〇会の上にならばいつまでも御加護を賜りますようお願い申し上げます
- 微力ながら奥様のお力になり、生前通りの相代わらぬお付き合いをさせていただき事を申し添えます
- 残されたご遺族に対し、私たち同僚ができる限りを努めますと誓います。遺族のことは何一つ心配することなく、安らかに眠られんことを後輩として祈るばかりです

## 結びの言葉 10 例

---

- 〇〇様、心残りではございますが、これでお別れいたします。どうぞ安らかに静かに眠り下さい

- ○○氏のその偉業に対し、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んで氏の御冥福をお祈り申し上げます
- どうぞ安らかに眠り下さい。香煙ゆらぐなかに、にこやかな笑みをたたえた○○社長のお写真を拝しつつお別れいたします
- 最後に君の在りし日の遺影の前で、永遠の別れを申し上げ、衷心より御冥福を祈って弔辞といたします。いざさらば○○君。ゆっくりと休んでくれたまえ
- 流水落花、変転定めなき世とは申しながら、別れは辛く名残は尽きません。が、しかしお別れしなければなりません。慈母と仰いだ貴女様の御冥福を心からお祈りして最後のご挨拶に代えさせていただきます
- 天寿を全うし、永眠された翁の霊に申し上げます。今日只今よりあなたの遺徳を胸に前進して参ります。いずれお会い出来ることと存じます。それまでしばしの別れを申し上げ弔辞といたします
- それではお別れでございます。私たちはここに、○○さんの遺業をさらに進展させることを再びお誓いし弔辞に代えさせていただきます次第でございます
- 願わくば、末永く私どもの行く手をお見守りください
- このうちは、あなたが安らかに眠られることを衷心よりお祈りいたしまして私のお別れの言葉といたします
- 思い切って、最後のさようならを言います